



第1回「釧路湿原川レンジャー学習会」を開催しました！

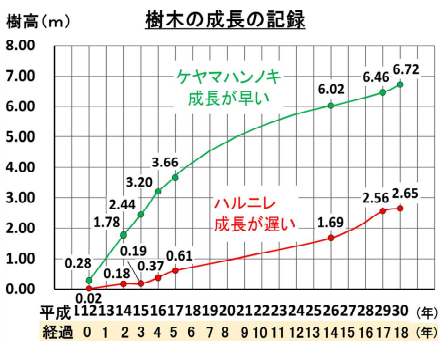
「第1回釧路湿原川レンジャー学習会」を平成30年6月26日に開催し、22名が参加しました。

午前には釧路町岩保木水門付近において釧路町立遠矢小学校5年生と一緒に「花咲じいさんプロジェクト」に参加し植樹を行い、午後は標茶町塘路湖のサルボ展望台付近へ移動し「外来種防除(オオハンゴンソウ)」を実施しました。

■ 樹木生育観察

毎年、植樹した生長の遅い樹種(ハルニレ)と、生長の早い樹種(ケヤマハンノキ)の生育観察を行い生長の違いを確認しています。

平成14年に植樹されたハルニレとケヤマハンノキの樹高を測定し、ハルニレは2.65m(昨年2.56m)、ケヤマハンノキは6.72m(昨年6.46m)に生長していたことが分かり、16年間でケヤマハンノキの方が約4mも高く生長していました。



前年に植樹した苗木観察



位置図



植樹に参加者した皆様

■ 植樹

植樹用のサークルに10ポットの苗を15サークル植樹しました。用いた苗はケヤマハンノキ、アオダモ、ハルニレ、ホザキシモツケ等全て周辺の自生種です。種類の違う樹木を植えることにより、その場所の環境にあふような自然林をつくる植樹手法で行いました。



植樹作業

■ ポット苗作り

エゾノバッコヤナギ、ミヤマハンノキの2種類の苗を手分けしてポットに移植しました。

この苗は、順調に生育すると来年以降の植樹に使用されます。



ポット苗作り



／ロッコ号のお見送り

外来種防除・・・特定外来生物 オオハンゴンソウ

塘路湖のサルボ展望台付近に生育するオオハンゴンソウの防除作業を行いました。

特定外来生物であるオオハンゴンソウは、繁殖力が強く大きな群落をつくることから在来種(※1)が減ってしまう可能性や、他の動植物に悪影響を及ぼす可能性があるため防除をする必要があります。

今回は、約21Kgのオオハンゴンソウを防除を行いました。また、防除の効果を確認するため、防除を行う地区と防除を行わない地区の2箇所の調査地区を設け、オオハンゴンソウの位置や草丈の記録を行いました。

今回防除を行った地点では、継続的に防除をしていたためオオハンゴンソウの生育数が大幅に減少していることが確認されました。

※1：在来種—その土地に元からいた動植物

◆ オオハンゴンソウ ◆

- ! 草丈が50cm～3m程度になる大型の植物(多年草)
- ! 繁殖力がとても強い植物で、種子からだけでなく引き抜き後に残った小さな根からも成長する。
- ! 根から他の植物が発芽しにくくなる物質(アレロパシー)を出す。
- ! 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(※2)(通称:外来生物法)において、「特定外来生物」に指定されている。



群落化してしまったオオハンゴンソウ

※2：通称：外来生物法—外来種のうち、生態系、人の生命・身体、農林水産業等への被害が深刻なものを「特定外来生物」に指定し、輸入、飼育、栽培、保管や運搬等の行為が原則禁止されている。違反者には最大3年以下の懲役または300万円以下の罰金(個人)が課せられる。



防除作業



防除後の記念撮影

★★ 参加されたみなさま、午前の植樹から引き続きの作業 大変お疲れさまでした。★★

観察活動の報告

報告日	報告内容
H30.3.5	動植物(オオハクチョウ)、ゴミの不法投棄
H30.3.15	危険箇所(損壊した遊歩道の橋)
H30.4.12	動植物(コミズク)
H30.4.30	その他(流木)、動植物(トビ、ミミカイツブリ)
H30.6.1, 6.3	動植物(ヒグマ)

注意喚起としてヒグマに関する報告がありました。川レンジャー活動の際には、野生生物に十分気をつけてください。

今後も釧路湿原川レンジャーNewsで紹介していきますので、みなさまからの報告をお待ちしております。

